

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年12月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103573
法人名	医療法人 聖祥会
事業所名	グループホーム ゆうかり (1号館)
所在地	鹿児島県鹿児島市吉野町5400-1.2 (電話) 099-244-5481
自己評価作成日	令和5年12月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年1月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は医療法人に属し、かわもと記念クリニックの敷地内にあります。医療的なニーズに対応しやすく、緊急時は在宅医師や訪問看護から医療を受ける事が出来ます。集中的な治療が必要な場合は、当クリニック内の病棟に入院する事も可能で、毎日の様子を見に訪問したり、訪問が出来ない場合は内線で情報交換することが出来ます。ホーム内は高い天井と広々とした空間でゆっくりと過ごすことが出来ます。敷地内に庭や畑があるので、散歩がてら季節の花々を見る事が出来たり、季節の野菜を収穫する事も出来ます。法人内の企業主導型保育園の園児の散歩コースになっているので、触れ合いを持つ事も出来ます。普段の面会は勿論ですが、看取り時期は時間に左右される事なく面会が出来たり、宿泊する事も出来ます。最期の時まで大切なご家族と共に過ごせるよう配慮致します。入居者の皆様のお気持ちを大切に、なるべく自立支援に繋がるような援助を行っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、申し送り後に全員で1個/1日ずつ復唱し、すこしずつ意識できている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルスの感染開始から、日常的な交流が、一切出来ていない。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	今後、新しい場所に移転する事をきっかけに、地域交流の場としてうたい、認知症についての理解を求めたい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	1回/2カ月に実施となっているが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開催を中止し書面での伝達としている。内容を書面で送付し、回答は電話にていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市町村との連携については、運営推進の報告や、生活保護を受けている方の情報交換や諸報告、また認定調査時の訪問を受けている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関の施錠については、勤務するスタッフが一人になる夜間帯（18時半～7時）は防犯上施錠を行っている。それ以外の時間はどなたでも往来出来る様開錠してある。身体拘束についてはスタッフ自身も院内研修で十分理解出来ていると思う。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>4回/年高齢者虐待について学ぶ研修を行っている。資料を確認しながら、その都度考えさせられ改める事も多い。虐待が行なわれない様スタッフ同士でも気をつけていきたい。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護について深く学ぶ機会を多く持っていない。日常生活自立支援事業と成年後見制度の違いなど学び、認知症である入居者様にとって必要である制度ということを理解していきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約については管理者が代表して行い、契約書に基づき丁寧に説明している。特に金銭面やお看取りについては、何度も説明し間違いのないよう十分注意を払っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ホーム内での会議（大人数での開催や密になるような状況）を中止している。普段の面会時に要望などを伺い、必要に応じて理事長の判断を仰ぎ運営している。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定例ミーティングなどで出た意見によっては、理事長並びに事務長へ報告している。確実に反映されているとは言えないが、主任会などで伝達は出来ている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>スタッフの満足度をはかったことはないが、一般的な水準は満たしているのではないかと思う。向上心は損なわないよう、外部研修の機会をもち、資格取得についても協力している。職場環境を良好保てるよう支援したい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>理事長は学ぶ事を大事にしている。スキルアップの為に、外部研修や資格取得に前向きな姿勢を応援している。個々のスタッフが参加したいと望むものには、快く了承している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>理事長は他事業所との交流を応援しているが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、それが出来にくい状況である。最近はグループホーム同士でSNSのグループを作り、情報共有出来るように検討している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居日のアセスメントで、本人の望む暮らしを確認し、これまでの生活歴等を参考に、本人が安心して生活出来る環境を提案し実践している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にご本人やご家族への聞き取りを行い、現在の困り事や不安、要望等の思いを把握し、安心して生活していただけるような支援を行えるよう、チームで検討している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期のアセスメント時の支援が本人に合っているか？職員間で再アセスメントし、サービスが適正か検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の出来る事を探し、提案し無理なく参加してもらう事で、役割を果たせるように支援し、達成感や充実感を感じてもらう。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者さんの状態によっては、すぐに電話報告している。また、面会時も担当職員やケアマネが中心となり、ご家族と情報共有し、ケアの意向や要望を確認している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	携帯電話を使いつつでも連絡が出来る方もいれば、ご家族を介して近況を報告し合う方もいる。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者さん同士も性格の合う、合わないがある。余計な揉め事が起きないように、ホールの座席を工夫したり、必要に応じてスタッフが仲立ちになるなどの対応を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去される時に、いつでも遊びに来て下さい。という声掛けをさせてもらう。中には、以前入居されていた方のご家族が定期的に訪問して下さる例もある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	これまでの生活歴を把握した上でホームでも同じような日々が送れるよう支援している。それが困難な場合は、ご家族に相談しながら、なるべく本人の願いに近い状況に出来るよう工夫している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ホームへ入居されたことで不安や喪失感に苛まれないよう、なるべく本人の希望に近い環境作りを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別ケアを取り入れながら、個人の出来る事に着目し、積極的な活動が出来るよう支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様の現状を把握し、ご家族の意向も確認し、職員同士で意見交換している。それを1回/月のミーティングで検討し反映する。そして、3か月毎のモニタリングを行い、介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の申し送りノートや日々の申し送りで、職員同士の情報共有を行っている。入居者様の状態が変わった際のケアも統一出来るようにする目的もある。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>訪問マッサージや訪問歯科など、他の日課(入浴等)と重ならないよう工夫している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域資源の一つである医療とは協働が強い。福祉用具貸与なども必要に応じて活用している。認知症カフェなどに参加する機会をもっていないので、活用したい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>1回/2週間の定期往診を受けている。病状に応じて、必要な時には、かかりつけ医である当クリニックを受診し検査を行っている。結果により、新たに薬が処方されたり、集中的な治療が必要な場合は入院することもある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>状態の変化があった際は看護職員へ報告し、看護職員が確認後在宅担当のかかりつけ医へ報告し指示を仰いでいる。指示内容によっては、検査など行い適切な治療が行われる。ご家族への報告も併せて行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>法人内のクリニックの病棟に入院することが多いので、情報交換、共有はしやすい。コロナ禍で訪問が出来なかった際も、電話連絡で情報共有していた。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に必ず重度化対応や、看取りについての説明と希望を確認している。そして、改めて入居者様が看取り時期になった際は、改めて説明し対応の確認を行う。その内容はチームで共有し、ご家族も最期の時まで寄り添えるような環境作りに努めている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルを確認し、必要な対応が出来るようにしている。医療的な内容については、看護師からレクチャーを受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>2回/年 防災訓練を昼夜想定で実施している。1回は消防署の分遣隊にも参加していただき、指導を受けている。法人全体で取り組むので、共助の体制がとれている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>入居者様の性格や生活歴を理解し、丁寧な話し方や対応を心掛けている。個々のプライバシーに配慮し、個人情報の取り扱いにも十分注意している。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>意思表示出来る方へは必ず説明しご本人の気持ちを確認している。意思表示出来ない方は、性格や生活歴を参考にし、思いを汲み取れるよう配慮している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者様の生活のリズムに合わせてベッド臥床したり離床している。皆が同じことをするのではなく、作業したい方、運動したい方と、それぞれの要望を実践している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>1回/2か月訪問理容を利用し、ヘアカットや髭剃りで身だしなみを整えている。個人によっては、元気な頃から愛用している衣類を着用している。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>季節の野菜の下拵えを手伝ってもらったり、ちまき作りやらっきょう漬けなど、郷土料理を作ったりすることで時期を感じてもらえるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎日の食事摂取量と、水分摂取量を記録し把握している。水分摂取が進まない方には、好みの味の物を提供するなど工夫している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎週歯科往診の訪問を受け、口腔内のチェックをしてもらい、的確な指導を受けている。毎食後口腔ケアを行い、保清に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表に記録し、自発的な訴えがない方は誘導したり、時間が空けば腹部マッサージをするなど排泄を促している。ずっと付き添うのではなく、排泄後にコールを鳴らしてもらう等、出来る事を習慣化している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日の排泄チェックから、排便が出てない日数を毎日把握している。それにより、便意を促す飲み物や乳製品を提供したり、必要に応じて坐薬や浣腸を実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調が悪い時は予定をずらしたり、清拭に変更している。気分が乗らない時は、時間や曜日をずらすなど、無理強いしないようにしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝や起床時間は身体の調子や、気分によっても違うので、個々の希望に添い対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	介護スタッフが全て理解しているわけではないが、なるべく既往歴と内服を照らして理解したい。服薬については、その方のレベルに合わせた服薬の仕方となっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみや、野菜の下ごしらえなどの作業で役割を全うすることの喜びを感じ、運動や読書、散歩など好きなことに取り組むことで心が満たされるなど、気分の上がる取り組みをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>屋外への散歩で気分転換したり、庭でレクリエーションや茶話会をするなど楽しめるイベントを行っている。また、花見やドライブなど車に乗って出かける機会も作っている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人で金銭管理を行う事が難しい。また、外出してお金を使うということも難しい。ただ、入居者様が欲しい物や、食べたい物があるとされた時は、一緒に出掛けられる支援をしたい。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>個人で携帯電話を所持している方は、自ら連絡をとっている。連絡をとりたいという方には、ホームから電話をしている。手紙のやりとりは殆どない。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>高い天井と広いホールで開放感がある。日差しを適度に受けることが出来て、日向ぼっこにもなる。ホールとトイレが近いので、開閉に注意し異臭には注意している。入浴の際は早目に暖房を入れ暖めている。季節の花々を飾ったり、壁画を作るなどの工夫もしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホール内の畳スペースで過ごしたり、ソファでくつろぐなど、其々がリラックス出来るところがある。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>これまで自宅で使っていた私物を持ち込んでいただくなど、持ち込みに殆ど制限はない。ご家族と相談して、居心地の良い居室を作っている。また、移動しやすいように動線も考え、ご本人やご家族に提案し、家具の移動も行う事がある。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホール全体に手摺が設置してあり、安全に移動出来るようにしてある。トイレや浴室にはわかりやすく目印があり、日付カレンダーで毎日の日付確認が出来るようになっている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない